

# 第1回 人がつながる「地域と共にある学校づくり」研修講座 実施報告

- 1 日時 平成27年7月22日（月）14:00～16:30
- 2 会場 奈良県産業会館 大ホール（大和高田市幸町2番33号）
- 3 参加者 233人  
（幼稚園16人、小学校141人、中学校46人、高等学校16人、その他13人）
- 4 内容 14:00～14:10 開会挨拶  
14:10～16:00 講演「子どもを育む『つながり』の力  
～連携から協働へ～」  
大阪大学大学院 人間科学研究科  
教授 志水 宏吉  
16:00～16:25 これが聞きタイム（質疑応答）  
16:25～16:30 閉会挨拶

## 5 講演概要

### ① はじめに — 「教育コミュニティ」の考え方

「教育コミュニティ」とは、「地域全体で、地域の子どもを育て、見守っていく」という考えである。それには「目標」、「集う場」「活動」の3つの要素がある。



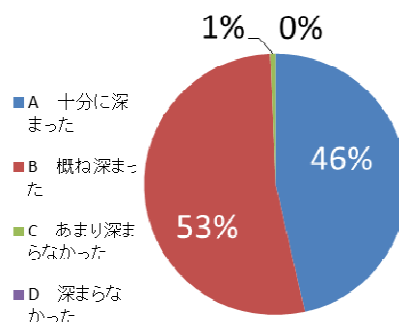
### ② 子どもたちの学力の実態 — 「つながり格差」仮説

学力格差には、「つながり格差」の存在がある。「つながり格差」には、家庭とのつながりを示す離婚率、近隣社会とのつながりを示す持家率、学校・教師とのつながりを示す不登校率の3要因がある。

### ③ 学力の構造 — 「学力の樹」

学力を「学力の樹」で考えると、「葉」は知識・技能、「幹」は思考力・判断力・表現力、「根」は意欲・関心・態度である。これらの中で、身に付ける優先順位が高い「根」の学力では、自尊感情、学習習慣、目的意識の3つがポイントとなる。

「子どもを育む『つながり』の力」についての知識・理解が



### ④ 「力のある学校」の8要素

- ①気持ちのそろった教職員集団、②戦略的で柔軟な学校運営、③豊かなつながりを生み出す生徒指導、④すべての子どもの学びを支える学習指導、⑤ともに育つ地域・校種間連携、⑥双方向的な家庭とのかかわり、⑦安心して学べる学校環境、⑧前向きで活動的な学校文化。

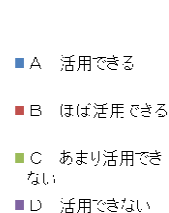
その5番目の要素「ともに育つ地域・校種間連携」は「地域と共にある学校づくり」に関係する。地域には様々な方がおり、学びの参考となる。これを活かす必要がある。

### ⑤ 「つながり」(=社会関係資本)の力で子どもを育む

「社会関係資本」が豊かになり、お互いがサポートするようになると、子どもはよく育っていく。地域や学級のつながりの再構築、再編成をする必要がある。

## 6 感想

- ・ 学校管理職（教頭）として、先生方あるいは生徒達に「つながり」力について話したい。「学力の樹」など具体的な理解しやすかった。
- ・ 地域や学校によって、関わって頂ける方は色々だが、協力できる方から少しづつ広がってほしいと思った。
- ・ 子ども同士、職員同士の「つながり」を大切にしたい。



この講座の内容は今後の教育活動に活用できるものでしたか。